

平成28年6月7日

保護者の皆様へ

鳥取県立倉吉東高等学校

校長 河田 雅志

大韓民国「安養高校」生徒ホームステイ受け入れについて（募集）

向暑の候、保護者の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動に御理解、御協力いただきありがとうございます。

さて、本校は国際理解教育の一環として大韓民国安養高校と交流協定を結び、国際高校生フォーラムなどの行事において交流を続けております。また隔年でお互いの生徒をホームステイで受け入れる活動も行っており、昨年は本校生徒がホームステイをして大変お世話になりました。今年度は本校が安養高校の生徒を受け入れる年にあたり、以下の日程で安養高校生徒約40名が倉吉に来る予定です。

つきましては、安養高校の生徒1名もしくは2名を受け入れてくださるホストファミリーを募集いたします。

ホームステイのホストファミリーとして、安養高校の生徒を受け入れてくださるご家庭、保護者の方は下の申込用紙に必要事項を記入し、担任まで提出していただきますようお願いいたします。

安養高校ホームステイ計画（予定）

日程	10月13日（木）	夕方：倉吉到着（本校）	<u>ホストファミリー出迎え</u>	ホームステイ
	10月14日（金）	朝： <u>本校まで送り、又は生徒と一緒に登校</u>		
		午前：本校にて歓迎行事、授業参加など		
		午後：県内観光		
		夕方： <u>本校まで迎え</u>		ホームステイ
	10月15日（土）	朝：学校集合 倉吉出発		
			ホームステイ 13日、14日 計2泊	

*高価なプレゼントを贈ったりする必要はありません。普段の生活のままで生徒を受け入れてください。

尚、一人あたり食事相当額等として6,000円（一泊当たり3,000円）の補助をさせていただきます。

*承諾書の提出締め切りは6月23日(木)といたします。よろしくお願いします。

*前回のホストファミリー体験記（「倉東だより」より裏面に転載）もあわせてご覧ください。

----- き ----- り ----- と ----- り -----

安養高校の生徒のホームステイ受け入れを承諾します。

☒をお願いします

☐ 1名のみ

☐ 2名でも可能

年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

※担任を通じて連携発信部 岸田まで



一年五組 田中 哲哉
私の家では、二人の生徒を受け入れました。
一番楽しかったのは、韓国語を勉強している中学校の時の同級生を呼んで「お好み焼きパーティー」をしたことです。また、ラッキョ酢で漬けた梅干しや蜆汁など、日本食も気に入ってくれて嬉しかったです。
・韓国のホームステイの方が日本の歴史に詳しく、中学校の資料集を持ち出してきて、一緒に「このお城は誰が築城したか」調べました。すぐに答えられるように、日本史をもっと勉強しておくべきだったと思いました。友達が帰るとき星空を見て「私の住んでいる街では星が見えません。とても綺麗!」と感動してくれました。鳥取県は改めて自然の豊かなところだと感じました。
一番嬉しかったことは、「このホームステイを経験した事は一生忘れません」と言ってくれたことです。お互い「東京」に行ったことがないので、一緒に東京に行く約束をしました。必ず果たしたいです。



二年五組 岩田 美月
私は初めてホームステイを受け入れました。私は英語が苦手なので、不安でいっぱいでした。でも韓国に行ったときに、英語が苦手なガイドさんと簡単な日本語や韓国語を使って会話を楽しみました。その時に、ことばではなくジェスチャーでも会話ができた事が分かり、アニヤンの生徒と交流するのが楽しになりました。
みんなが英語で会話している中、日本に何度も来たことがあるソンミンが、人見知りの私に簡単な単語や写真を使って説明してくれました。夜はたこ焼きパーティーをし、どの料理もおいしいと言っておくれました。
三日目は、二人でおそろいのリボンをつけて学校に行きました。それは離れていても私たちを繋げるものだから、嬉しくなりました。この日には私も英語で普通に会話することができていて、自分自身も驚きました。小学生の頃からずっとホームステイを受け入れていればよかったなと思いました。ソンミンは私にとって初めてのできた外国の友達です。ありがとう!



三年一組 上山 夏子
今回私は、二人の生徒を受け入れました。私は、一年生の時にも受け入れをしており、二年生の時も自分が韓国の家に泊まっていたので、不安というよりはむしろ海外の友達が増えるのと楽しみに思っていました。
前回のホームステイでは、日本語がとても上手な子だったので、英語を話す必要がありませんでした。今回は、英語ですつと会話をすることが上手くなり、自分の言いたいことが上手く伝えられなかったりすると、もどかしさが出てうしろいかなからなくなる時がありました。しかし、そういう時こそお互いを思いやることができたと思います。
ホームステイの受け入れをした三日間は、私にとってもとても素晴らしい日になりました。
夜遅くまで、三人でイケメンの話や、韓国の俳優さんの話をしたことは、忘れることができないくらい楽しかったです。
たった三日間しか一緒に過ごしていないのに、すごく仲良くなれて、素敵な思い出をつくることができました。
最後に、Se-young, Soo-yeon、また会おうね☆★

ホームステイ受け入れ後の保護者の感想

- 2年前に引き続き2度目。英語ができなくても身振りなどでコミュニケーションでき楽しかった
- 疲れたが、それ以上に子どもたちの変化という収穫があった。家がきれいになり親の心が広がった。
- 韓国では両親を大切にすることを実感した。
- 緊張していたが、実際に迎えるとよい体験になった。
- 2人受け入れ、かなりの負担を覚悟していたが逆に寂しい思いをさせることがなくよかった。
- 見送りのとき本当に寂しかった。春から私と夫は受け入れに乗り気だったが、息子は嫌がっていました。でも終わってみると「楽しかった。よかった」と言っていました。息子は英語が苦手ですが少しやる気になったようです。

